

成 監 第 1 6 9 号
令和7年11月25日

成田市長 小 泉 一 成 様

成田市監査委員 佐々木 宏 之
成田市監査委員 岩 舘 和 彦
成田市監査委員 秋 山 忍

定期監査（学校監査）の結果について（報告）

地方自治法第199条第1項及び第4項の規定により定期監査（学校監査）を実施したので、同条第9項の規定により別紙のとおり監査の結果に関する報告書を提出します。

成 監 第 1 6 9 号
令和7年11月25日

成田市議会議長 荒 木 博 様

成田市監査委員 佐々木 宏 之
成田市監査委員 岩 舘 和 彦
成田市監査委員 秋 山 忍

定期監査（学校監査）の結果について（報告）

地方自治法第199条第1項及び第4項の規定により定期監査（学校監査）を実施したので、同条第9項の規定により別紙のとおり監査の結果に関する報告書を提出します。

成 監 第 1 6 9 号
令和7年11月25日

成田市教育委員会
教育長 日 暮 美 智 子 様

成田市監査委員 佐々木 宏 之
成田市監査委員 岩 舘 和 彦
成田市監査委員 秋 山 忍

定期監査（学校監査）の結果について（報告）

地方自治法第199条第1項及び第4項の規定により定期監査（学校監査）を実施したので、同条第9項の規定により別紙のとおり監査の結果に関する報告書を提出します。

令和 7 年 度
定期 監 査 報 告 書
(学 校 監 査)

成 田 市 監 査 委 員

学 校 監 査 報 告 書

第1 監査の基準

この監査は、成田市監査基準に準拠して実施した。

第2 監査の種類

地方自治法第199条第1項及び第4項の規定に基づく定期監査（学校監査）

第3 監査の対象

成田小学校、八生小学校、吾妻小学校、玉造小学校

神宮寺小学校、美郷台小学校、成田中学校、玉造中学校

第4 監査の着眼点

各学校の財務に関する事務事業の執行及び施設の管理状況等について、適正かつ効率的に行われているかを主眼として行った。

第5 監査の主な実施内容

成田市監査基準に準拠し、各学校から提出された令和6年度及び令和7年度（8月末現在）における監査資料等に基づき、説明聴取及び関係帳簿類の照合を行い、事務事業の執行状況及び施設の管理状況について、適正かつ効率的に執行されているかを監査した。

第6 監査の実施場所及び日程

1.実施場所 各監査対象校

2.日 程 令和7年10月6日（月）、10月15日（水）

第7 監査の結果

1. 予算の執行について

各学校の事務事業の執行について、その目的に沿って適正に執行されていると認められた。引き続き、教育効果や年間行事等の状況を的確に判断し、時機を失することなく目的に沿った予算執行がされるよう留意されたい。

2. 施設等の管理について

定期的に安全点検等が実施され、施設等の修繕が必要となる箇所を把握し、速やかに対応がとられており、おおむね適切に管理されていると認められたが、校

庭の遊具について、安全点検等で修繕が必要となり、使用できないものが複数見受けられたことから対応を検討されたい。

また、一部の学校において、職員室前の廊下に体育用備品が放置されている状況が見受けられた。消防法上の避難経路の確保に加え、廊下に大きな備品等があることで転倒・衝突の危険があることから整理整頓に努められたい。

3. 備品等の管理について

現金や児童・生徒の個人情報等について、各学校で校長室や職員室の金庫等で保管しており、校長を中心とした適格な職責の職員が金庫の鍵を管理し、施錠は適切に行われていた。

また、切手などの郵券について、受払簿と現物の照合をし適正に管理されていたが、郵便料金の改定や連絡ツールの多様化により、はがきの使用が今後見込まれない学校もあったことから、在庫の対応について検討されたい。

次に、理科準備室の管理及び薬品等保管庫の施錠について、各学校でおおむね適正に行われていた。理科の担当教員が作成したチェックリストを使用した薬品の残量管理をしている学校があり、薬品等を適正に管理することに有効であることから、チェックリストを学校間で情報共有するなど活用について検討されたい。

また、図書室の管理運営について、学校図書館司書による読み聞かせやスタンプラリーを開催するなど、各学校において工夫をしながら児童・生徒の読書習慣の維持や意欲を高める取り組みがなされていることが確認できた。

令和7年度学校監査における意見・要望事項について（報告）

1. 予算の効果的な配分及び適正な予算執行における連携について

学校管理費と教育振興費に配分されていた備品購入費を、令和7年度より学校管理費に一本化したことで、予算の効果的な配分が可能となり備品の購入がしやすくなったとのことであった。

また、燃料費と修繕料を教育総務課が一括管理することで、燃料費の高騰や突発的な修繕に対応しやすくなったとのことから、引き続き教育総務課と各学校の連絡等を密にし、効果的な予算要求を行うとともに、配分された予算については、計画的かつ適正に執行するよう留意されたい。

2. 学校施設の管理について

校庭の遊具について、安全点検等で修繕が必要となり使用できないものが多く見受けられた。児童に人気のある遊具を優先的に修繕しているとのことであったが、遊具は運動能力の向上に加え、心肺機能の強化等の身体的成長を促し、さらに身体的な成長は、精神的な安定や社会性の発展にもつながる重要なものと考えられることから、可能な限り速やかな修繕に努められたい。

また、独自の写真データを活用して遊具を管理している学校があった一方で、遊具の修繕スケジュールを把握していない学校も見受けられたことから、学校施設課と修繕スケジュールを共有し、遊具の適正な維持管理に努められたい。

草刈りについては、保護者や業者により実施しているとのことであったが、斜面や刈払機等を使用しての草刈りについては、けがをする危険があることから、安全管理を徹底されたい。

また、職員室前の廊下に体育用備品が放置されていた学校があり、消防法上の避難経路の確保に加え、廊下に大きな備品等があることで転倒・衝突の危険があることから整理整頓に努められたい。

3. 薬品の管理について

理科準備室の管理及び薬品等保管庫の施錠について、各学校でおおむね適切に行われていた。理科の担当教員が作成したチェックリストを使用した薬品の残量管理をしている学校があり、薬品等を適正に管理することに有効であることから、チェックリストを学校間で情報共有するなど活用について検討されたい。

また、薬品の残量を量る秤の調子が悪い学校があったことから、必要に応じ秤の交換について検討されたい。

4. 特色ある学校づくり事業（ドリームスクール・ジャンプ21）について

本事業の主要なメニューの一つであるキャリア教育において、地域の協力を得て体験活動を積極的に行うなど、継続した学びの機会を創出している学校も見受けられた。各学校においては、実施計画に沿って意欲的に取り組んでいるが、事業を効果的に実施するため、教職員の負担が大きいと思料する。事業本来の趣旨に沿ったうえで、計画策定等について、より教職員の負担が少ない事業となるよう研究されたい。